



下関市（主に豊北地域） ざっくりとしたご紹介

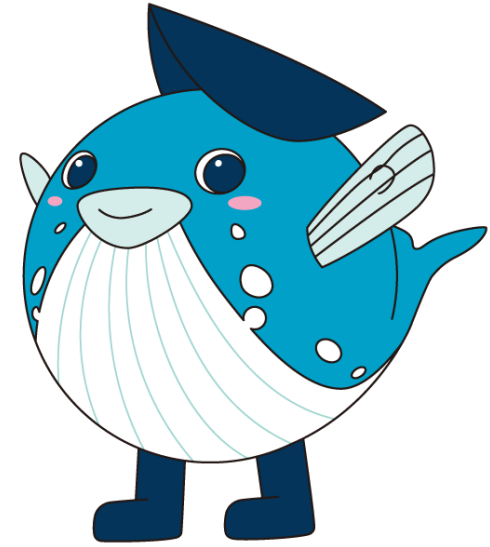


自己紹介

氏名：松本 勇弥

所属：下関市 総合政策部
広報戦略課 都市ブランド化推進室

兼務：下関市役所 豊北総合支所
豊北地域再生プロジェクト推進室



下関市メインキャラクター
「せきまる」



豊北町滝部地区の将来ビジョン

下関市をざっくりとご紹介



1. 本州のすみっこです。
2. 山口県で最も人口が多いです。
3. 結構広いです (> 東京23区、淡路島)
4. 意外と便利なまちです。



1. 都会と田舎のバランスが絶妙です



2005年に1市4町が合併し、都会と田舎が共存するまちに。
2023年 第11回「住みたい田舎ランキング」では**全国3位**に！

2. まちを歩けば、歴史に当たります。



- ・ 武士社会の幕開けとなった「壇ノ浦の合戦」
- ・ 宮本武蔵と佐々木小次郎の「巖流島の決闘」
- ・ 近代化のきっかけ「下関戦争（馬関戦争）」
- ・ 明治維新の発端といわれる「功山寺決起」
- ・ 近代国家へと脱皮をとげた「下関条約」

3. 食が本当に豊かです。



4. とてつもなく美しいまちです。



5. 実は、アウトドアの聖地です。



6. チャレンジが生まれやすいまちです。



7. これからも話題が尽きないまちです。

「観光の起爆剤に」 関門海峡滑降1740mのアトラクション計画 北九州、下関両市が支援本格検討



関門海峡や周辺の山々を一望できるメガジップラインのイメージ写真（ケイエムアドベンチャー提供）

山口県下関市の民間事業者が、関門海峡にワイヤロープを渡して滑り降りるアトラクション「メガジップライン」の整備を計画している。実現すれば、日本一の長さとなる全長1740メートル。スリルを味わいつつ雄大な景色を楽しめ、訪日客や愛好家を集められる観光コンテンツとして期待される。北九州、下関両市も「関門エリアの観光の起爆剤になる」と、行政支援のあり方について本格的に検討を始めた。（村田直隆）

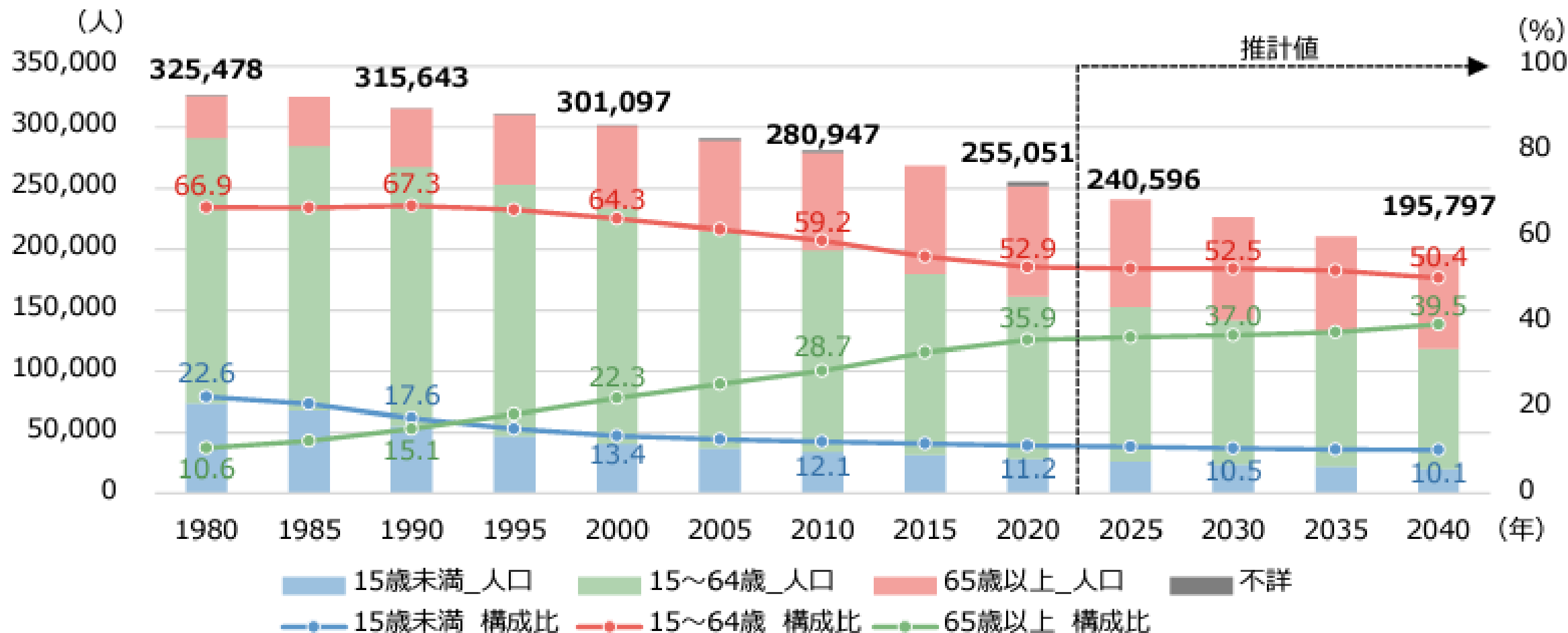
【リゾナーレ】星野リゾート リゾナーレ下関の起工式を執り行いました
「リゾナーレ下関」2025年秋 開業予定



思わず住みたくなるまちですよね！？
それでは後編！課題について。

8. 市全体の人口が減っています。

■人口の推移と将来見通し

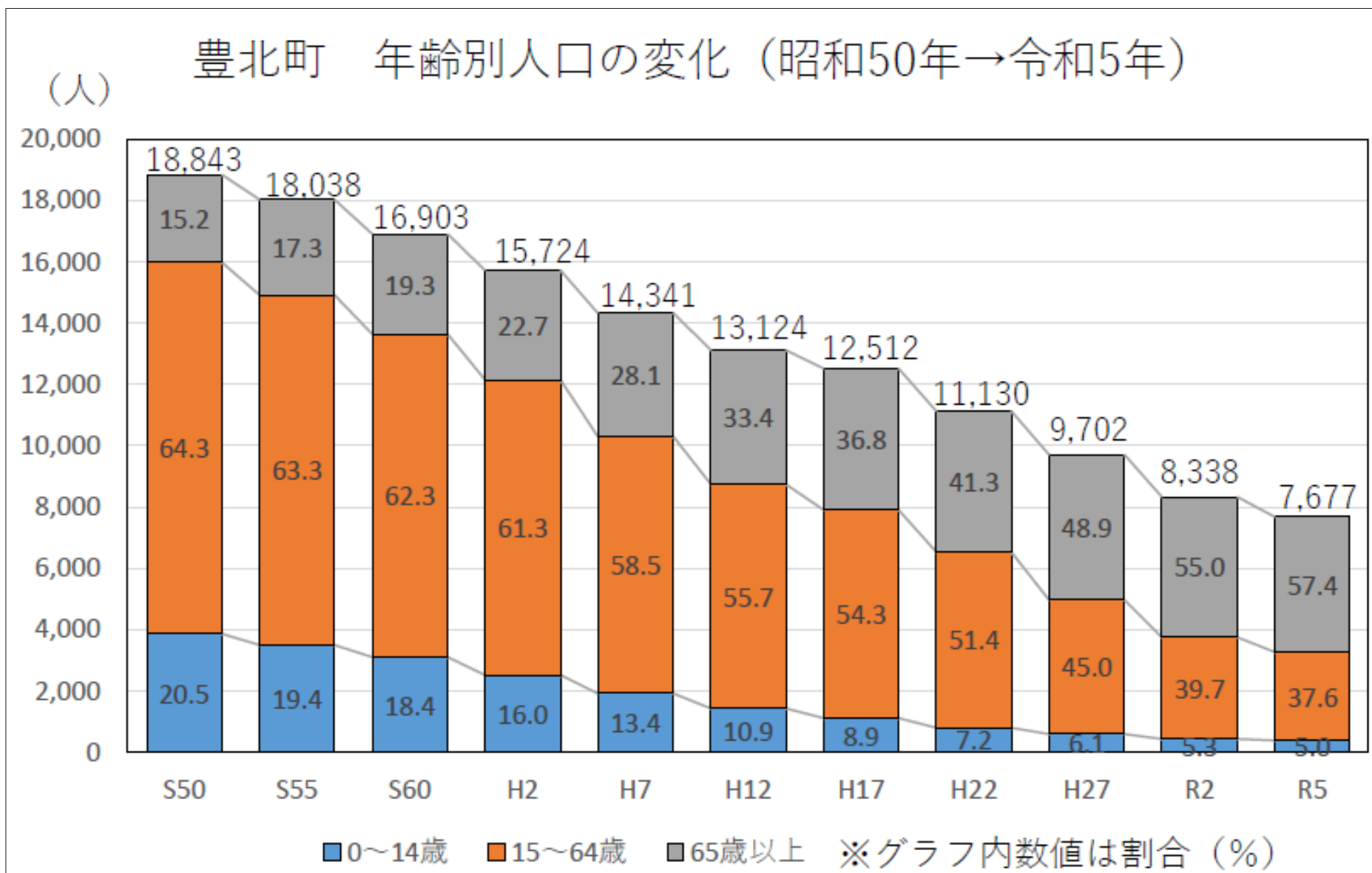


資料：国勢調査（1980年～2020年）、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所（平成30年12月推計）

9. 豊北地域の減少数・減少率が際立っています。

4町の 人口推移	国勢調査人口		減少数 ②-①	(減少率%) (①-②) / ①
	昭和50年①	令和2年②		
豊浦町	20,361	16,232	△ 4,129	20.3
菊川町	7,807	7,231	△ 576	7.4
豊田町	8,696	4,620	△ 4,076	46.9
豊北町	18,843	7,890	△ 10,953	58.1

10. 豊北地域の2人に1人以上が高齢者です（57.4%）



1 1. 地域の人たちも言います。
「豊北はもう終わった」。
「完全にオワコンのまちだ」・・・と。



1 2. しかし、「角島・角島大橋」には
年間100万人以上の観光客が来ています。
移住希望者が最も多いのも豊北地域です。



1 3 . ただ、住める物件が非常に少ないです。 空き家や未利用の行政財産は沢山あります。



14. リノベーションすれば雇用が生まれそうな 施設も沢山あります。



15. 今年度からリノベーションまちづくりに 取り組み始めています。

1

あるものを 活かす

地域資源を発掘・再編集し
新たな使い方をすることで
低リスク・低コスト・スピーディー
かつ 地域らしい事業に繋がる

2

小さな点を打ち 波及を生む

小さな事業をスモールエリアにおいて
複数同時に生み出すことで
エリアの期待値を上げ
周辺に波及させる

3

民間主導の 公民連携

民間が補助金に頼らない
持続性のあるプロジェクトを興し
行政が様々な形で
サポートする



嶋田 洋平

株式会社 らいおん建築事務所 代表取締役

1976年福岡県北九州市生まれ。

東京理科大学理工学研究科博士前期課程修了（工学修士）後、「みかんぐみ」の勤務を経て2008年にらいおん建築事務所を設立。
法政大学デザイン工学部大学院非常勤講師。趣味は料理。

株式会社 神田川ベーカリー 代表取締役

株式会社 北九州家守舎 代表取締役

株式会社 タンガテーブル 代表取締役

一級建築士／省エネ建築診断士

16. パソナグループと地域活性化包括連携協定を締結しました。

パソナグループと地域活性化包括連携協定を締結



市とパソナグループは、地域活性化を推進するために、包括連携の協定を締結しました。これから、お互いに連携・協力しながら「地域共創プロジェクト」を展開していきます。「地域共創プロジェクト」では、地域の社会課題解決に取り組む人材や企業の誘致・交流を促進し、地域に根差した新産業創造と雇用創出、豊かな生き方・働き方を実現できる街づくりに取り組みます。さらに連携を強化するため、下関市では初となる国の地域活性化起業人制度を活用し、同社から瀬川康弘さんを派遣社員として受け入れました。

◆ 地域活性化起業人に就任した瀬川康弘さん

下関市出身の瀬川さんは、兵庫県淡路島で10年以上にわたり地方創生事業を推進してきたパソナふるさとインキュベーションの前社長として、廃校活用のほか農業者の育成や古民家を改装したカフェの開設などを手がけてきました。

4月から瀬川さんは豊北総合支所地域政策課に着任。今後は、豊北地域の活性化を図るために、最長3年間、空き物件を活用した移住促進などの取り組みのほか、下関ならではの産品や地域性を活かした地域企業の持続的な成長発展や雇用創出、地方創生の実現促進を担います。



パソナグループから派遣職員を受け入れ

17. リノベーションまちづくりの キックオフミーティングも開催しました。

参加総数：73名（地域内外住民、事業者、行政職員、メディア、アドバイザー）

**豊北地域（滝部エリア）
リノベーションまちづくり
キックオフミーティング開催！**

参加費
無料

株式会社らいおん建築事務所の 嶋田洋平氏 とともに、
滝部エリアのまち歩きを行います。
空き家や空き地の活用を考えながら、
「地域の未来」や「わたしたちの暮らし」を一緒に考えてみませんか？

2023.6.10 ±
14:00～18:00（受付13:30～14:00）

集合 大翔館 2F 講堂 〒759-5511 下関市豊北町滝部 3153-1 **定員** 70名

駐車場 豊北総合支所をご利用ください **主催** 下関市役所 豊北総合支所 地域政策課

タイムテーブル

14:00 ガイダンス・レクチャー まちづくりの方針説明、 嶋田氏のセミナー	15:00 まちあるき まちなかを歩き、空き家や空き地を探索。 新たな魅力を発見しよう。	16:30～18:00 ディスカッション
--	--	--------------------------------

※雨天決行
※当日のタイムテーブルは変更される場合がございます。

嶋田洋平氏（株式会社らいおん建築事務所 代表取締役）
1976年北九州市生まれ。2001年に東京理科大学工学部建築学系修士修了。
建築設計事務所「みかんぐら」のチーフを務め、2008年にらいおん建築事務所を設立。2012年に「北九州都市再生」を立ち上げ、全国の様々な都市地域でエリア再生事業のプロジェクトの策定、推進、実行に携わり、数多くのエリア再生プロジェクトを推進。主な事業として、福岡市東区にある「みかんぐら」の再生プロジェクト（旧福岡市立小倉南小学校）の再生、日経アーキテクチャ「アーキテクト・オブ・ザ・イヤー2017」に選出。小倉南町での実践によって国土交通大臣賞「日本建築学会賞教育賞」。

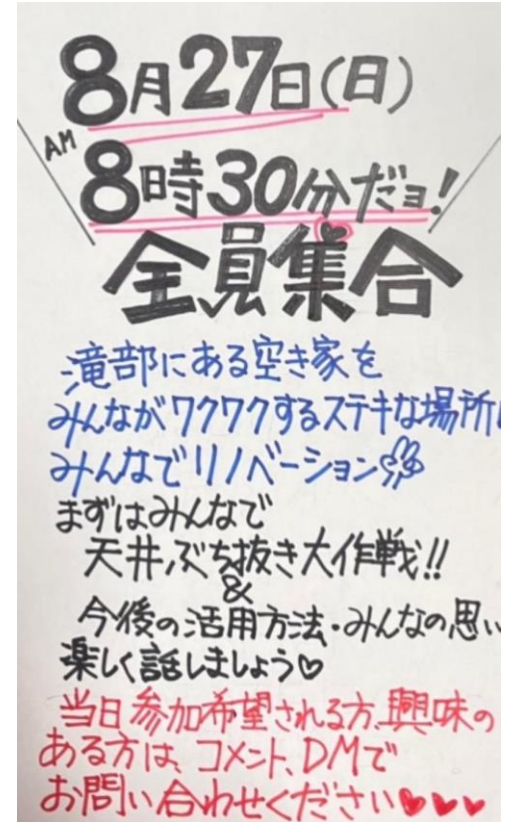
ご予約はこちら

お問合せ 豊北総合支所 地域政策課 地域振興係
☎083-782-1914 平日 8:30～17:15 受付
〒759-5592 下関市豊北町滝部3140-1





18. 地域に有志の家守事業団体も立ち上がりました！ (一般社団法人たきびれっじ)



19. 過疎地域での新たな働き方モデルを目指し、 テレワーク人財の育成プログラムもスタート！

豊北地域の働き方リノベーション

参加無料

お申込みはこちら！



豊北でテレワークを体験しよう！
**テレワーク
体験プログラム
in豊北**

プログラム講師：株式会社ユーカリヤ

第1回 11/12 (日)	第2回 11/26 (日)	第3回 1/27 (土)
午前 9:00 オリエンテーション Re:Earth概要・基礎 13:00 ●場所：下関市豊北総合支所	午前 9:00 作業進捗共有会 13:00 ●場所：下関市豊北総合支所	午前 9:00 最終作業時間 ランチ会 13:00 ●場所：下関市豊北総合支所
午後 13:00 テーマ決め 作業時間 16:00 ●場所：太翔館	午後 13:00 作業時間 16:00 ●場所：太翔館	午後 13:00 制作物を発表！ ゲストからの講評も！ 成果発表会 16:00 ●場所：太翔館

●準備物：パソコン、マウス(タブレット・スマホ不可)パソコンをお持ちでない場合は個別にご相談ください。
●補足事項：すべての日程にご参加いただくことを前提としています。一部の日程や時間帯でご都合が難しい場合には事務局へご相談ください。
●こんな方にお勧め：主婦・主夫の方、テレワークに興味のある方、学生、育児や介護中の方 など
●会場住所：下関市役所 豊北総合支所 (下関市豊北町滝部3140-1)
太翔館 (下関市豊北町滝部3153-1)

裏面も
ご覧ください

お問い合わせ 株式会社パソナJOB HUB 担当：西部・谷
workation@pasona-jobhub.co.jp 080-7033-2874
主催：株式会社パソナJOB HUB 共催：下関市役所豊北総合支所 地域政策課 株式会社ユーカリヤ
当セミナーは総務省より株式会社パソナJOB HUBが「テレワークを活用した地域課題解決事例の創出に関する実証事業」を受託して運営しております



20. 豊北に、志と人財が集まり始めています。



2 1. “豊北Lab”で一緒にチャレンジしませんか？

- ・ 地方移転に興味がある、地方でのサテライトオフィス展開を検討している方
- ・ 地方でのサテライト拠点進出の事例を知りたい方
- ・ 働き方改革の推進に取り組んでいる、または興味、関心のある方
- ・ 地方での商品開発や事業連携、実証実験、研究など、事業開発を模索中の企業の方
- ・ 地方での人材採用や育成、多様な働き方の進め方を模索中の企業の方
- ・ 全国に先駆けた山口県の実績を知りたい方

2 2. 豊北での事業共創と企業誘致を目指す ワーケーションツアーも開催します。 よろしければご応募ください！



交通費と宿泊費は
無料です

11/16~18
(木) (土)

山口県 ワーケーション

今回のテーマは

- #テレワーク
- #地域との共創
- #中山間地域

山口県内の訪問エリアは

- #下関市 豊北地域
- #萩市

ツアーの詳細は
裏面に記載 ▶

説明会URL↓



普段とは違う山口県という環境で
何か新しいものを掴みきっかけを。



訪問する企業その1

新産業創造や雇用創出、廃校や
空き家、遊休地等を利活用し、
地域コミュニティの活性化を。



下関市豊北総合支所
株式会社パソナグループ
事業開発部 瀬川 康弘さん

2009 年株式会社パソナに新卒入社し、農業人材の育成や閉校活用施設
「のじまスコーラ」や古民家改装カフェ「ミエレ」など、多くの新施設開業
に従事。2018 年、浜路島の地域産業の活性化や雇用創出に取り組む株式
会社パソナふるさとインキュベーションの社長に就任。2023 年4月から、
自身が故郷の下関市に戻り、総務省の地域活性化起業人として着任。

訪問する企業その2

なぜ山口県萩市に進出？
地域で優秀な人材を採用・育成が
できる本質的な理由と秘訣に迫る。



萩 IT 松下村塾



株式会社ネットケアサービス
代表取締役 金子 竜二さん

コンピュータ利用技術の開発 / 販売、ソフトウェア・サービス、コンピューター・
コンサルタントを主要業務としている。地方での人材確保および Know-how の保
護を目的として、2016 年に萩へ進出。2020 年からは、行政と学校、萩市に進出
した他の IT 企業と一緒に「萩グローバル IT 人材育成協議会」を立ち上げ、IT の
実践基礎知識を無料で学ぶことができる Eラーニングカリキュラム「萩 IT 松下村塾」
を始め、地域の IT リテラシー向上に貢献している。

▽▼お問合せ先▼▽

下関市役所豊北総合支所 地域政策課

電話：083-782-1914

メール：hhchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp